

## 学校長挨拶

佐賀県立盲学校のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

本校は、佐賀県内唯一の視覚障害教育の学校として、幼稚部、小学部、中学部、高等部に普通科・保健理療科、専攻科を設置し、視覚に障害のある幼児児童生徒の教育に取り組むとともに、平成27年6月には「目の支援センター ゆうあい」をスタートさせ、視覚障害教育のセンター的役割を担っております。

本校の歴史は、大正13年に、佐賀盲啞教授所と佐賀盲学院を私立佐賀盲啞学校として合併・改称したところから始まりました。昭和22年には、盲ろうを分離独立させ、佐賀県立盲学校と改称し、一昨年で100年目を迎えました。今年度も新たな100年の歴史となる一步一步をしっかりと刻み、100年後の未来に向けてますます飛躍する年にしていきたいと思っています。

今年度は、新入生3名（高等部普通科1名、高等部保健理療科1名、専攻科理療科1名）を迎え、幼小小学部4名、中学部3名、高等部4名、専攻科6名の合計17名の幼児児童生徒が、「－ 明朗・友愛・自立－」の校訓のもと、同じ学び舎で学んでおります。

本校に勤務する職員は、視覚障害教育のさらなる充実のために、常日頃から、自らの専門性を高め、自らの指導力を向上させることに真摯に取り組んでいます。そして、職員同士が連携し、協力体制の構築に努めています。教職員はもとより、幼児児童生徒とともにお互いを認め合い、たたえあう中で成長を進めて参ります。

今年度は、重点目標を、

『夢をはぐくみ、未来をひらく盲学校』～自分で考え、選び、自分で決める力を育てる～としました。

これからの社会では、自分で考え、選び、決定して、行動する力が一層求められます。今年度も、本校の幼児児童生徒が自分の良さや可能性に気づき、将来の進路について主体的に考え、選択できるよう指導・支援を行っていきます。

教職員一同、保護者や地域の皆様と連携し、協力しながら、将来、一人一人が自分らしく豊かに生きていけるよう、一丸となって幼児児童生徒の指導・支援を行っていきます。

今年度も、佐賀県立盲学校をよろしく願いいたします。



令和8年4月吉日  
佐賀県立盲学校 校長 中村 浩子

